

市民アイ

「アイ」とは、自分（アイ）・市民目線（eye）・まちへの愛の意をきめており、前向きにいろいろなことに取り組まれ、有田市のために活動をされている市民の方を紹介するコーナーです。



和歌山  
箕島球友会

9月6日から開催される第38回全日本クラブ野球選手権大会の本戦に西近畿地区（和歌山県、大阪府、兵庫県）を代表して出場することが決まった和歌山箕島球友会。この大会への意気込みや、日々の活動内容など、監督の西川忠宏さんにお伺いしました。



全日本クラブ野球選手権 優勝への熱い思いを語る西川監督

「第38回全日本クラブ野球選手権大会本戦に出場おめでとうございます。ところで、この大会はどういった大会か、簡単に説明していただけますか？」

西川 社会人野球には3つの大きな大会があります。一番大きな大会は都市対抗野球大会（東京ドーム）、次に社会人野球日本選手権（京セラドーム大阪）、その次に全日本クラブ野球選手権（西武ドーム）があります。

全日本クラブ野球選手権は全国276のクラブチームの頂点を決める大会で、優勝すれば、社会人

野球日本選手権へ出場できます。監督になられて一番心に残っている思い出は何ですか？

西川 2006年の全日本クラブ野球選手権に優勝したことです。試合終了後、電話で尾藤公さんに報告し、夜行バスで翌日午前5時30分頃有田に到着した時、尾藤公さんが出迎えてくれました。抱擁を交わしたことは今でも鮮明に覚えています。

監督としてチームをまとめるために心がけていることは何ですか？

西川 仕事あつての野球であると考えています。例えば、ユニフォームなどはチームが選手に支給するのではなく、選手自らが買うようにしています。とにかく自分たちでできることは自分たちでやる。そのためには、選手たちが仕事も一生懸命しないと野球ができないということになります。それでも大きな大会へ遠征に行く時などは資金不足が生じます。その時は、賛助会員などの方々に寄付をいただいています。和歌山箕島球友会は、地域の皆様のご協力のおかげで成り立っているチームですので、そのことに感謝の気持ちを忘れないうようにしています。

12月〜1月中旬はシーズンオフとなっておりますが、その時はどのような活動をされていますか？

西川 限られた期間になりますが、日頃の感謝の気持ちを形に変えるため、地域貢献活動をしています。

今行っていることといえば、少年野球の指導、マラソン大会のスタッフ、クリーン作戦への参加や各施設の清掃などです。この活動を通じて選手たちも勉強になる非常に良い機会だと捉えています。平均年齢24〜25歳と若いチームなので、その力を活用できるように今後こんなことをやってもらいたいという地域の意見などをどんどん求めていきたいですね。



昨年12月に実施された保育所での溝掃除

最後に、全日本クラブ野球選手権への抱負をお願いします。

西川 昨年は準優勝でしたが、昨年より戦力は充実しています。日本選手権へ出場し、地元の皆さんに応援に来ていただけるよう、全日本クラブ野球選手権では優勝します！

選手の間には、厳しい練習にも笑顔をやさしく励まし合いながら取り組まれました。また、挨拶も本当に爽やかでした。

皆さんの頑張っている姿を見て心から応援したい気持ちになりました。

優勝に向かって、頑張れ！和歌山箕島球友会！

—あなたが見た「まちの誇り」をお聞かせください—

本市では、意外と知られていない名所や史跡、地道な活動をされている人など、まちの誇りとなりうる情報を募集しています。

■連絡先／〒649-0392 有田市箕島50 有田市役所秘書広報課 TEL/0737-83-1111 E-Mail/hisho@city.arida.lg.jp

広告

とにかく駅から近い！⇒

会社や学校からの帰り道の教習にも便利!!

9月から11月は静かな環境で教習をお受けいただけます。

JR藤並駅東口から  
徒歩約3分

有田自動車学校

フリーダイヤル 0120-52-4415 (通話料) 中型(一種・二種) | 普通(一種・二種) | 普通二輪

★事前に何でもお聞きいただき、不安を解消してからご入校ください★

卒業後も免許取得まで徹底してお付き合いさせていただきます。